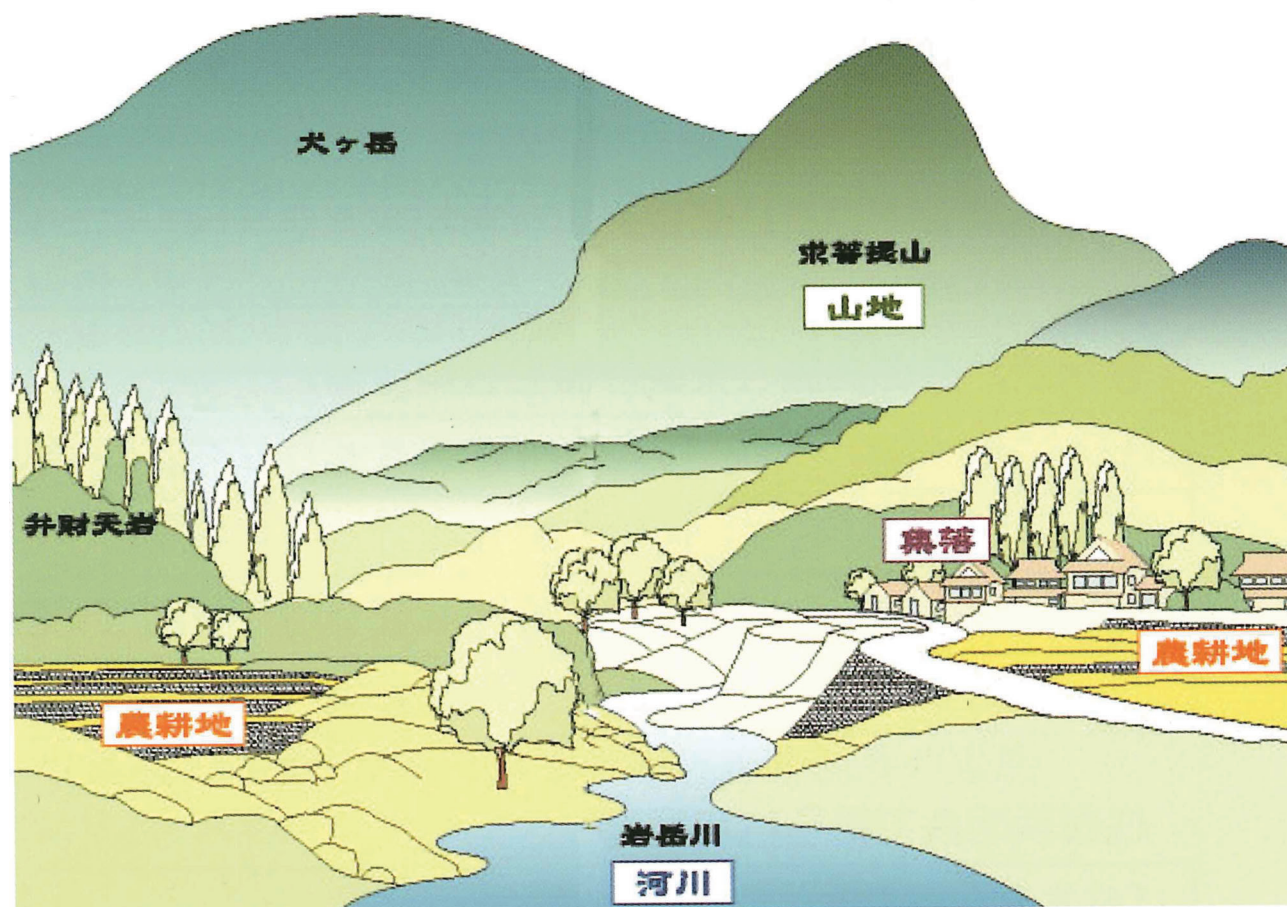
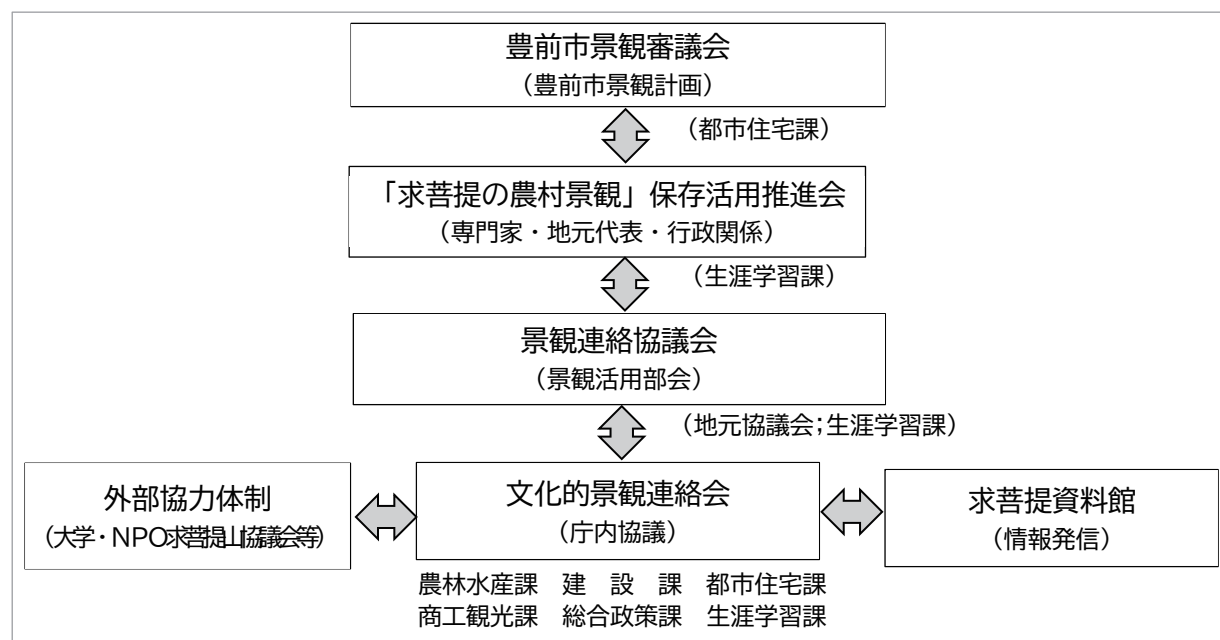


◆「求菩提の農村景観」景観単位概念図



◆「求菩提の農村景観」整備活用の推進体制



「求菩提の農村景観」整備活用計画報告書

令和5年3月

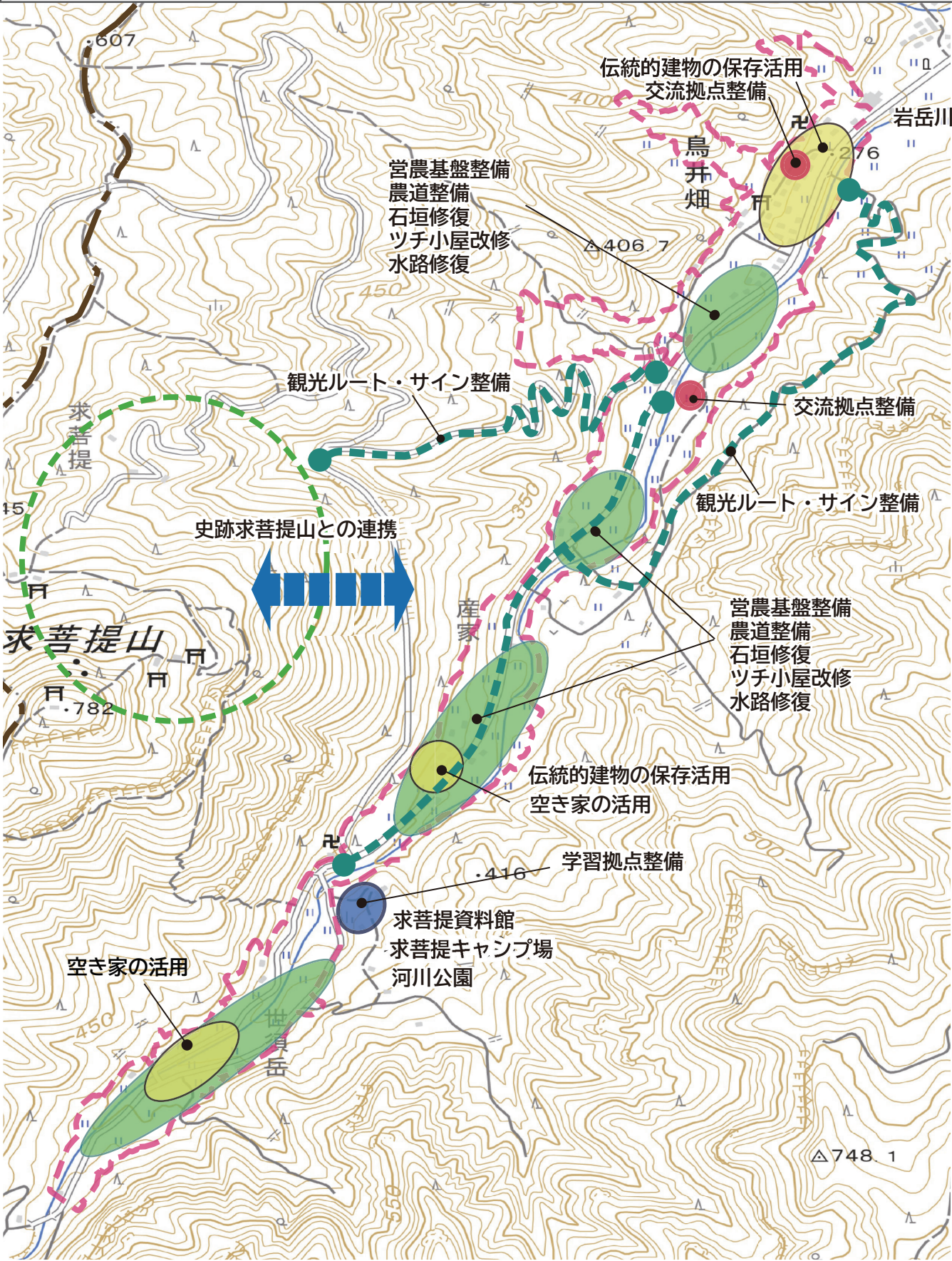
編集発行 豊前市 福岡県豊前市大字吉木955
協力 株式会社よかネット 福岡市博多区中洲中島町3-8

求菩提の農村景観整備活用計画



令和5年3月
豊前市

豊州求菩提山絵図の姿を今に伝える景観、
美しい棚田、修験の聖地、求菩提の継承



◆整備活用計画の基本方針

- ①保存：伝統的な集落や棚田、石垣の景観、水路、山地の連続性を保全、回復するため、重要な構成要素である水路、河川、道路等を行政が責任を持って取り組みます。
- ②協働：人々の生業、生活のもとに成立してきた文化的景観であり、資源の所有者、市、住民の協力により、行政、所有者、住民が一体となって保存活用の取組を推進します。
- ③持続：整備活用のためのプログラムを行政と住民の協働のもとに検討し、文化的景観の価値を発信し、地域文化の進歩に貢献する持続可能な取組を推進します。

◆保存・活用・地域振興に向け取り組む事業

事業方針			内容
保存計画	①重要な景観構成要素の保存	a. 文化的景観構成要素の保存 b. 構成要素の円滑な改修	・建築物・石垣・水路・農道林道・河川道路・砂防施設・ツチ小屋 ・地元連絡組織の設置 ・負担金条例のあり方勉強会
	②植生や生態系への配慮	a. 植生・生態系の実態把握 対策協議	・植生・生態系の実態把握 ・植生等影響検討の専門部会の設置
	③保全の障害となる課題の対策	a. 獣害の実態把握、対策検討 b. 景観形成基準の周知・事前協議	・獣害実態の把握 ・専門家による獣害対策の検討 ・協議の仕組みづくり ・景観連絡協議会の設置
	④伝えられる信仰	a. 伝統行事の継承	・信仰とつながる伝統行事、伝統芸能の継承
活用計画	①文化的景観の価値の理解	a. 景観理解の教材づくり b. 歴史文化、地域資源の連携促進 c. コト体験の提供 d. 教育機関との連携	・文化的景観構成要素の3DCG化 ・3DCGを活用したパンフレット等の作成 ・改修推進に活用 ・学習拠点づくり ・情報発信 ・サイン計画 ・歴史文化の体験等、コト体験の提供 ・企画運営組織づくり ・小・中学校の学習活動との連携 ・高大教育との連携、共同研究の場
	②地域学の構築	a. 求菩提学の創設	・地域を学ぶ体系づくり ・教育機関等との連携
	③外部との連携	a. 地区を支える応援団づくり	・応援団とネットワークづくり ・連携の核となる組織づくり
	④土地利用を維持する取組み	a. 協働の仕組みづくり	・基盤整備方策の検討 ・集落営農の導入 ・営農維持の協働の仕組み「里づくり勉強会」
地域振興計画	②後継者の育成・確保	a. 新規作物・産品開発 b. 子育て支援、移住支援の拡充	・新規産品の開発 ・地域の銘品づくり ・移住定住の受け皿づくり ・移住定住のお試し体験
	③新たな産業の育成	a. 地域ブランドづくり b. 資源連携による観光サービス導入	・ブランド研究会 ・プロモーション活動 ・資源連携のルート開発 ・ガイド人材の拡充 ・サイン・もてなし環境の整備 ・ICT活用による価値の理解
	④受入れ体制	a. 伝統的建物等の活用による拠点づくり b. 核となる組織づくり	・交流拠点 ・学びの拠点 ・地域の活動拠点 ・景観活用部会（仮称）設置 ・持続する地域づくりの仕組み

◆短期・中長期計画の取組方針

区分	年度	主な取組	具体的な内容
短期計画	2023	①文化的景観構成要素の保存 ②学ぶ場、教材づくり ③協働の仕組みづくり	①重要な構成要素の追加 ②サイン計画の作成と設置 ③営農維持の協働の仕組みづくり
	2024	①獣害の実態把握・対策協議 ②学ぶ場、教材づくり ③地域を支える応援団づくり	①獣害実態の把握 ②パンフレットなどの作成 ③応援団とネットワークづくり
	2025	①景観理解の推進 ②伝統的建築物等の活用 ③核となる組織づくり	①サインの設置 ②交流拠点の整備 ③景観活用部会
中長期計画	2026	①新規作物・産品開発	①新規産品の開発
	2027	①植生・生態系の実態把握	①植生調査
	2028 2032	①地域ブランドづくり ②観光サービス導入	①ブランド研究会 ②ガイド人材の拡充